

標題

今年も出雲ぶどう部会でデラウェアの品評会を開催！

～果粒肥大良く、高糖度～

(ダイジェスト)

JAしまね出雲ぶどう部会では、毎年デラウェアの品評会を開催しており、今年も高品質のデラウェアが多数出品されました。品評会では8つの賞が設けられ、審査員により厳正な審査が行われたのち、上位8名の方のデラウェアがそれぞれ入賞されました。

また、入賞品は島根ワイナリーで開催されたぶどう祭りで展示されました。

JAしまね出雲ぶどう部会では、デラウェアの品質向上と商品の均一化を図り、生産振興と、栽培農家の意欲向上を目的に、毎年品評会を開催しています。

今年は6月15日に開催され、29点の出品がありました。出品されたデラウェアはどれも果粒肥大が良く、高品質で生産者の努力が伺えるものでした。

審査は出雲市農業振興課や島根ワイナリー、農業共済組合、果樹研究同志会、JAしまねぶどう部会、JAしまね、農業技術センター、普及部の審査員16名が行い、外観（着色、粒揃、房揃、着粒密度、房形、花粉）、詰め方、糖度、酸度の項目を審査しました。

品評会では出雲市長賞など、8つの賞が設けられ、上位8品のデラウェアがそれぞれ入賞されました。審査長の農業技術センター安田課長は、「果粒肥大が過去にないくらい良好。高糖度でとても良いぶどうが生産されている。」と評価されました。

入賞品は6月16、17日に島根ワイナリーで開催された、ぶどう祭りで展示されました。また、11月に開催予定の平成30年産ぶどう出荷反省会において、表彰式が開催される予定となっています。

普及部としては、引き続き高品質なぶどうの生産・出荷ができるよう、支援を行っていきます。



審査の様子



入賞したデラウェア